

こころの便り

第236号

令和元年11月

〒679-1434
兵庫県たつの市新宮町大屋六六ハ一十二
株式会社 新宮運送グループ
代表/木南 一志
kininami@shingu.co.jp
電話 079-1-75-1212



新宮運送ホームページ

世間よし

台風15号、19号で大きな被害が出ました。千葉県を中心とした停電復旧が全く進まないなか、重ねての台風が河川の氾濫を全国各地で発生させました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

豪雨災害は、降る雨の量が増えると必然的に川の水の量も増えて氾濫となります。私は専門家ではございませんから、解決策にはなりません。日頃の掃除を通じて感じることは、川底の手入れも必要ではないかと思えます。雨水を流す側溝の中も日頃から綺麗に泥を上げておくことで、水の流れも良くなりますが、落ち葉やごみで詰まると与えられた役目を果たせず、溢れかえってしまいます。

昔から領主の役割は「治山」と「治水」と言われてきました。大自然が生み出す恵みを得るために必要なことは山と川なのです。高い防波堤や高い堤防の対策だけでなく、歴史に学ぶ必要があるのではないのでしょうか。

文部科学省からは、掃除をしなくてもよいというお達しが出たそうです。中央教育審議会という重要な教育方針を出す機関から、夜遅くまで残業をしている先生方の仕事軽減のために必ずしもやらなくていい仕事として「掃除」が取り上げられたのです。掃除は雑用という視点でとらえられているようで、海外の学校に

倣って、外部委託すればいいのではという声まであったと聞いています。その現実の海外の学校では、生徒が自ら自分たちの学ぶ場を綺麗に磨き上げる日本の学校を見習おうと取り組み始めているにもかかわらず、です。

教師による教師のためのトイレ掃除に学ぶ便教会の兵庫県の代表である木田重果先生がある学校での発表で、たった15分間の掃除です。が毎日実行されていることから主要な教科に匹敵するくらいの時間数があるということでした。それほどの時間を先生無しで誰が指導するのでしょうか。

「良い習慣」を身につけることで世の中に出た時、立派な行動や品格が自然に表れるようになります。自分は汚す一方で、綺麗にするのは業者の仕事とするなら、世の中は良くなっているのでしょうか。

商売人の基本は近江商人の「三方よし」にあります。「売り手よし」「買い手よし」そして、「世間よし」という世の中を良くするための目線を忘れてはなりません。治水対策、働き方改革、教育改革、私たちの仕事、どれをとっても原点に立ち返って歴史から学ぶ姿勢が大切です。仕事は、世の中を良くするためにあるのです。

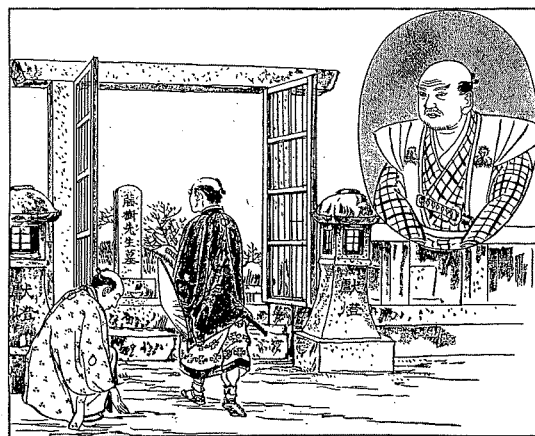
被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拝

尋常小學校修身書 卷五 兒童用

第二十六課 德行

中江藤樹は近江の小川村の人であります。幼い時から祖父の家に養はれ、其の後をついで、伊豫の大洲侯に仕へておりましたが、故郷の母を養ふために、役をやめて小川村へ歸りました。藤樹は貧しい中で、年よつた母に事へて孝行を盡し、又熱心に學問に勵んだので、とうとう徳の高い學者となりました。そこで、藤樹をしたつて、遠い所からはるく教を受けに来る者も多く、馬子のやうな學問をしない者までも、其の徳に感化されました。それで世間の人が皆、藤樹を敬つて近江聖人といひました。藤樹がなくなつてから、長い年月がたつてゐるが、村の人たちは今でも其の徳をしたつて、年々の祭をしてゐます。



或年、一人の武士が小川村の近くを通るついでに、藤樹の墓をたづねようと思つて、畑を耕してゐる農夫に道をききました。農夫は自分が案内しようといつて、先に立つて行つたが、途中で自分の家に立ちよつて、着物をきかへ、羽織まで着て來ました。武士は心の中で、自分を敬つて、かやうにしたのだらうと思つてゐました。藤樹の墓についた時、農夫は垣の戸をあけて、武士を其の中にはいらせ、自分は戸の外にうやくしくひざまづいて拜みました。武士はそこではじめて、さきに農夫が着物をきかへたのは、全く藤樹を敬ふためであつたと氣がついて、深く感心して、ていねいに墓を拜みました。

NPO法人 愛ランド様の協力で障害を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせて頂いていただいております。